

～ 年頭所感 ～

「 信用金庫であり続ける 」

金融デジタル化が加速し、金融業務のあり方が変革の時期を迎えている。さらに異業種の参入により、地域金融機関における金融サービスと非金融サービスの境界がなくなりつつある。

地域経済も一層厳しさが増すと予想されるが、多様な働き方を成長につなげる社会の実現が喫緊の課題と考える。

当金庫は未来に向けて、多様な人材による柔軟で変化に強い組織を構築するとともに、これまで以上に地域に密着し、地域金融機関としての使命を果たす。

「三者共栄」の経営理念のもと、コンサルティング力を強化することでお客さまのニーズに的確に応え、全役職員がワンチームとなって、地域の課題解決に取り組む信用金庫であり続けたい。

令和2年1月

大阪シティ信用金庫

理事長 高橋 知史